



かのやのホットな話題をお届け!



かごしま国体・大会
に向け選手を激励

9月8日、リナシティかのやで「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」に出場する、鹿屋市にゆかりのある選手・監督の激励会が行われました。これは本市に在住・通勤・通学している選手等を対象に、市民一体で応援する機会を設けたもの。当日は約320人が参加し、3人の代表選手による決意表明が行われるなど、選手たちは本番に向けて気持ちを一層高めていました。



多様な性について
理解を深める

9月16日、性的マイノリティの支援活動などに取り組む大賀一樹氏を講師に招いた「男女共同参画講演会」がリナシティかのやで開催されました。「性の多様性」をテーマに、自身の体験した性別への違和感や性の多様性が認められる社会づくりについて講演。参加者からは「全ての人が正しく理解することが必要」「性について困っている人への支援が大事だと思った」などの感想が寄せられました。



恋するカンパチ
市の新たな名菓に

9月20日、市観光物産総合センターで「恋するカンパチお披露目会」が行われました。これは昨年度実施した「第9回かのや100チャレ」にて最優秀賞を受賞したアイデア「恋するカンパチ」を、市内5つの菓子事業者がそれぞれ商品化し完成品の披露を行ったもの。当日は商品説明のほか完成品の試食も行われ、参加者はカンパチをモチーフにした新商品に期待を寄せていました。



鍛えぬいた技術で
準優勝をつかむ

9月11日、松清真也消防副士長（南部消防署）と園田大起消防副士長（佐多分署）及び関係者が市役所を訪れました。2人は8月25日に北海道札幌市で行われた「第51回全国消防救助技術大会」に鹿児島県代表としてロープ応用登はん種目に出場し準優勝を獲得。この種目はロープを登る選手とそのロープを下で補助する選手の2人1組で、15mを登るタイムを競うものです。



寄附金を活用して
地域活性化

9月11日、株式会社鈴屋の川上幹雄代表取締役社長が市役所を訪れました。これは、公益のために寄附した人を対象とした「紺綬褒章」の受章を報告するもの。同社は「中心市街地の活性化のために活用してほしい」との思いから、昨年6月に本市へ1千万円を寄附。市は寄附金を活用し、リナシティかのやのイベント広場にデジタルサイネージ（電子掲示板）を10月に設置しました。



交通安全を啓発
市民の安全を願う

9月20日、市役所で「秋の全国交通安全運動出発式」が行われました。これは交通安全意識の向上を図るために毎年実施しているもの。式では寿敬心保育園の園児が、国体ダンスと交通安全を願う「誓いの言葉」を披露。その後、白バイやパトカーによる交通パレードやMORI ALL WAVE KANOYAの選手による啓発品の配布等が行われ、交通安全を呼び掛けました。



障がい者面接会に
18社が参加

9月21日、ホテルさつき苑で「鹿屋・大隅地区障害者就職面接会」が行われました。これは、障がい者の一層の雇用促進を図ることを目的に、雇い入れる計画のある事業主と障がい者に面接の場を提供するもの。当日は、26人の求職者が18社の雇用担当者と面談を行い、興味がある企業に仕事内容を尋ねたり、働き方について説明を受けたりするなど、就職機会の増進が図られました。



企業版ふるさと納税として
1千万円を寄附

9月7日、株式会社西原商会九州の西原一将代表取締役会長に企業版ふるさと納税の感謝状を贈呈しました。同社は感謝の思いと今後の発展を願って、7月に本市へ1千万円を寄附。市ではスポーツ施設の整備などに活用する予定です。



養豚農家へ石灰等配布
豚熱を防ぐ

9月8日から、市内全ての養豚農家へ消毒用消石灰及び消毒薬を配布しました。これは佐賀県での豚熱の発生を踏まえ、県内有数の養豚産地である本市の防疫体制を強化するもの。現在、飼養豚へのワクチン接種も行われています。



壮年ソフトボール
全国の舞台へ

9月13日、池田病院壮年ソフトボールクラブが市役所を訪れました。これは、「第38回全日本壮年ソフトボール大会」県予選大会での優勝を報告するもの。同チームは、9月下旬に宮崎市で行われた全国大会に出場しました。



短大の特色を高校
生の教育に活用

9月27日、鹿児島純心女子短期大学と鹿屋女子高校との連携協定調印式が行われました。これは、同短大での取り組みや人材を鹿屋女子高での教育活動へ活用したり、高校生の進路に対する意識や学習意欲を高めたりする目的で結ばれたもの。同短大の平山久美子学長は「本協定が、両校にとって豊かな実りある取り組みとなるように祈念する」と語りました。



健康測定など好評
看専で白爛祭

9月30日、鹿屋看護専門学校で「第16回白爛祭」が開催されました。コロナ禍により一時規模を縮小していましたが、今年は喫茶やパザー、エンジョイナー等も通常どおり実施。会場では、学生がアロマオイルを使用した手浴体験や視覚障がいについての公開講座等のほか、オープンキャンパスも行われ、高校生等を対象に学校で学んだ看護体験などを披露していました。